

リヨンで議論：図書館員教育を、本の都市にて語り合う

小田, 光宏
青山学院大学教育人間科学部：教授

渡邊, 由紀子
九州大学附属図書館利用支援課：課長 | 九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻：准教授

<https://hdl.handle.net/2324/1498397>

出版情報：The Library journal. 108 (12), pp.818-818, 2014-12-20. Japan Library Association
バージョン：
権利関係：





リオンで議論

——図書館員教育を、本の都市にて語り合う——

小特集★IFLA リヨン大会レポート

小田光宏・渡邊由紀子

本稿では、IFLA の教育・研修部会 (SET: Education and Training Section) の会議と、SET が開催する分科会および図書館員の教育・研修に関する諸会合の概要を報告する。

○会議概要

SET の会議は、8 月 16 日 (土) と、8 月 20 日 (水) に開催された。メンバー紹介や事務連絡を除くと、2 回の主要な議題は、次のようになる。

- (1) 部会長・各運営担当者報告
- (2) 活動計画の提案・審議
- (3) 分科会
- (4) Special Interest Group (SIG)
- (5) 2015 年度ケープタウン大会
- (6) 2016 年度コロンバス大会

第 1 回は、(1) から (4) に主眼が置かれ、各種の報告に基づく意見交換がなされた。また、(5) と (6) の原案策定メンバーを固めた。メンバーは、その後の数日間、分科会の合間に協議を行い、第 2 回に具体案を示した。その結果、(5) (6) において、図書館員の教育・研修における digital curation, global accreditation, online education & training に関係する分科会の開催を決定した。

○分科会

SET の 40 周年記念サミットでもある第 83 分科会は、「図書館情報学教育と研修—力強い未来に向けた過去と現在の合流点」をテーマに開催された。会場の国立図書館情報学高等学院 (ENSSIB) には、50 か国から 150 名以上の参加登録者があった。

プログラムは、アレクサンドリア図書館の館長 Serageldin 氏と OCLC

Research の Connaway 氏による基調講演、「リーダーシップと協会の観点から見た図書館情報学教育と研修」および「我々の歴史と向き合い、図書館情報学教育の未来を決める」と題したパネルディスカッション、「アクセス可能な教育と研修」および「2050 年の図書館情報学教育」に関するイグナイト (啓発的) セッションから構成されていた。

パネルディスカッションにアジア太平洋地区 iSchool コンソーシアム CiSAP を代表して杉本重雄氏 (筑波大学) が登壇し、北米や欧州ばかりでなく、近隣地域との人的ネットワークの重要性を指摘しつつ、日本の図書館情報学教育の現状を紹介した。



○SIG ほか

New Professionals SIG と SET が共催した分科会は、図書館でのレジデント型研修に関するワークショップであった。主催者からの概要説明と経験者からの情報提供の後、参加者は 10 名前後の 5 グループに分かれ、ハッカソン方式 (同一テーマに関心を持つ者が集まって討議する方式) でアイデアを出し合って討議し、独自のレジデンシーモデルを作って順に発表した。

LIS Education in Developing Countries SIG による分科会では、メキシコ、モロッコ、エジプト、チリ、フィリピン各国における学生や現職者に対する教育への取り組みについて発表があった。

「情報リテラシー実践のための教育」をテーマにした分科会は、情報リテラシー部会と SET の共催で開かれた。会場を埋めた多くの参加者は、ワールドカフェ方式 (リラックスした場と雰囲気での討議を行う方式) により、専門職の人材育成に関する質問が書かれた 3 色の用紙を交換しながら、10 名程度のグループで、1 枚につき 20 分ずつ議論し、その討議内容を最後に報告した。

SET とは別に、3 部会 (専門職の継続教育と職場学習、議会のための図書館・研究サービス、ナレッジマネジメント) が、「図書館員と図書館管理職のための学習上の課題」と題する分科会を合同で開催した。主催者も驚く満席状態の熱気溢れる中、11 のテーブルに分かれ、10 件のトピックから一つをそれぞれ選択し、ワールドカフェ方式による討議が繰り広げられた。

注: 本稿の SET の会議は、常任委員を務める小田が執筆した。分科会以下は、科学研究費補助金による研究の一環で参加した渡邊が執筆した。

(おだ みつひろ: 青山学院大学教育人間科学部、わたなべ ゆきこ: 九州大学附属図書館・九州大学大学院ライブラリーサイエンス専攻)

[NDC 9: 0106 BSH: 1. 国際図書館連盟
2. 図書館情報学]